

# 映画祭 今夜フィナーレ

## 「ラフ&ピース」8日間熱く

23日に開幕した沖縄国際映画祭の「クロージングセレモニー」が、きょう30日午後6時30分から宜野湾市の沖縄コンベンションセンターシアター1で開かれる。総司会司会は藤井隆と木佐彩子が務める。

### 各賞発表へ 午後6時30分〜 コンベンション

セレモニーでは、本賞(うみんちゅしよ)映画祭のメインプログラム「Laugh部門」と「Peace部門」で上映された全20作品の中から、一般審査員と観客の投票によつて選定された「海人賞」が授与される。



シーサー像の行方はいかに?



THE BOOM



かりゆし58



NMB48

HE BOOMをはじめ、ガレッジセール、スリムクラブなど豪華メンバーが登場。クラ イマックスは毎年恒例の「テーマソング」笑顔のまんまを、ステージと客席が一体となつて大合唱。「ラフ&ピース」をテーマに閉める。

### 第1回最優秀ニュークリエーター賞・女優賞

## 「震災で心も惨禍 自分たちの問題」

『おだやかな日常』杉野希妃

今回の沖縄国際映画祭より新設されたクリエーターズ・フアクトリー。次代を担う人材を発掘しようというこのプロジェクトの第1回において、最優秀ニュークリエーター賞および女優賞を受賞した杉野希妃に、受賞の喜びや今後の抱負などを聞いてみた。



『おだやかな日常』は近日、桜坂劇場でも公開される予定 ©2012 Odavaka Film Partners

「プロもアマも問わず、ジャンルも問わず、長編でも短編でもOKという、このプロジェクトの存在を知ったとき、とても面白そうだなと思って出品させていたんですけど、本当に嬉しいです」



好きな監督は多数。そのなかで「ウディ・アレン監督には東京の映画を撮ってほしい。ぜひ私も出演したいです」

「震災以降、日本の国民は全員何らかの精神的ダメージを受けていると思いますし、この映画で描かれていることは、実はどこでも起こり得る自分たちの問題であるということ、それを言いたくてこの映画を作ったのですが、それを日本最南端でLaugh&Peaceを掲げるこの映画祭で評価していただけたというのが本当に嬉しい。沖縄はかつての戦争で多大な犠牲を強いられ、これからは私も広島出身で、祖母は原爆で被爆していまやRAM WIREらが出演。新コーナー「うちなぐダンスちゃんぶる」では、地元ダンスグループが登場し、さまざまなダンスを披露する。さらに2700人芸人による音ネタのステージも用意される。最終日のピーチステージも熱気大歓迎に包まれそうだ。

### シーサーだより ⑧

いよいよフィナーレだ。今夜クロージングセレモニーで、Laugh&Peace部門のグランプリが決定する。ボランティアの沖縄の若者たちも壇上上がり、この一週間の打ち上げだ。▼みんな疲れているはずなのに、やりきった充実感で陽に灼けた笑顔が光り輝いている。花火が上がって「笑顔のまんま」の大合唱。ああ、毎日本当に大変だったけど、やってよかったなあと思える至福の一瞬だ。▼沖縄は美味しい。豚肉の味が違う。ラフデーも石垣牛も心にとろけてしまいたい。海ぶどう、根シヨウガ、ソーキそば。そしてなんといっても



空気がうまい。年に一度、この映画祭でスタッフ全員が副鼻腔のフィルターを取り替える気分だ。▼今年も米、加、豪、中、韓、台、香港、タイ、インドネシア……世界中の人たちに出会うことができた。名刺が山のように溜まる。東京へ帰り各国の人たちにお礼のメールを書く。アジアとは片言の英文でのつたない交流が生まれる。沖縄と一緒に撮った写真を添付すると切なくなるような慈愛に満ちた返信が届く。そしてその後毎年クリスマスカードをやり取りする仲間になる。▼映画祭は国境を言語を人種を宗教を軽々と越えていく。もう争いはやめよう。握手を、ハグを、ハイタッチをしよう。エンタテインメントは人類が発明した、地球を救う唯一の方法論なのだ。(麻生香太郎)

# 見聞きした経験映画化

## 男女の複雑な恋模様 『建築学概論』

イ・ヨンジュ監督インタビュー

35歳の建築士と、彼の家を建ててほしいという、かつての初恋の相手との交流を、現在と過去を交錯させながら描いたラブストーリー『建築学概論』。29日、沖縄コンベンションセンター・シアターにて上映された本作の監督イ・ヨンジュは、映画界に入る前、建築の仕事に従事し、そこで見聞きした建築にまつ

わる男女の複雑な恋模様を、いつか映画で描きたいと思っていたという。「企画を出しては断られ、出演者に断られ、その繰り返しで、いつの間にか10年の月日が経っていました」が、執念の果てによりやがて完成させた映画は、韓国で、初恋ブームを巻き起こす大ヒット。「今、韓国では建築学を学べば、スジ(本職)の切なさに国境はないことを示唆する秀作である。」



韓国で恋愛映画として初めて観客動員が400万人を超す大ヒットに  
©2012 LOTTE ENTERTAINMENT  
All Rights Reserved.



大学の建築学科で学び、建築士として働いていた経験を持つ



シヨバフのホステスを演じたゴリ(左)と橋本一監督

## ゴリ「エンタの総合デパート」

橋本監督と舞台挨拶

『探偵はBARにいる2』

大泉洋と松田龍平が主演して大ヒットした映画の続編『探偵はBARにいる2』。ススキノ大交差点が29日、沖縄コンベンションセンター・シアター2で上映され、観終えたばかりの興奮と熱気が会場に漂うなか、探偵2人の友人を演じたゴリ(ガレッジセール)と監督の橋本一が舞台挨拶で登場した。

タキシード姿で現れたゴリは、撮影中に体験したエピソードを次々と披露して観客を大いにわか

せ、「どこぞんプレッシャーをかかれ、追い込まれた分、完成度も満足感も高い仕事できた。エンタテインメントの総合デパートのような作品なので皆さん宣伝してください」とアピールした。橋本監督は、「ゴリさんは総合デパートにたどえましたが、僕は警沢なお子様ランチだと思っています。身体は大人ですが精神はまだ中学生のまま、その頃からの夢だった映画監督になることができ、皆さんにこうして映画を觀てもらって感動を分かち合えて大変嬉しいです」と顔をほころばせながら喜びを語った。

## 出演を機にエロく? 舞台挨拶

椿鬼奴ら

## 『ピッチ』

29日、沖縄コンベンションセンターのシアター2で現代女性の「性」の問題に迫るドキュメンタリー『ピッチ』が上映された。終

了後、インタビュアー役を務めた椿鬼奴、熟女好きのお笑い芸人として出演した秋山竜次(ロバート)、祖父江里奈監督が舞台挨拶に臨んだ。

「女性が性に対して積極的に解放的になった反面、下ネタ話をするとバッシングされる『性』の現在を追究してみたかった」と祖父江監督が制作の動機を語った。当初は出演を躊躇したという椿が「頷いているばかりのインタビュアーで反省しています。人それぞれ

れの事情や立場を安易に否定せず、苦手な分野でも興味をもつようになりたい」と言いつつ、秋山が「椿さんがこれを機にエロくなるのは困るけど、徐々に変わってほしい」と絶妙なフォロー。椿の「自分がどんなタイプか友達と一緒に確認し合うのもいいかな」との発言に続き、「つき合っている女性や奥さんが何を考えているか男性にも観て知ってほしい」と祖父江監督も幅広い層の観賞に期待を寄せた。

## TMKYがグラランプリ

オープンマイク決定戦

29日昼、沖縄での新人発掘を目的に、吉本興業が実施する音楽イベント「オープンマイクオーディション」NO.1のうちな「ミュージシャン決定戦」がビーチステージで開催され、「already miss you」を歌った沖縄出身のバンドTMKYが写真IIがグラランプリを獲得した。沖縄の幼なじみ4人で結成され



左から秋山竜次(ロバート)、椿鬼奴、祖父江里奈監督



## デーモン閣下「降臨」

「コンペ作、質が高い」「ビーチステージトーク」連日ビーチステージで開催されてきた「KYORAKU PRESENTS ビーチステージトークスペシャル」。最終回となる29日は、Laugh&Peace部門の審査員を務めるデーモン閣下II写真IIが「降臨」した。



審査員として映画三昧の日々を「非常に楽しんでいるよ。我輩のご機嫌な様子で明かす閣下。今年

のコンペ作についても「非常に質が高い。タイトルは言えないが、ラスト泣きっぱなしだった映画もあった。映画祭にはいい映画がたくさんあるから、諸君たちも通った方がいい」と呼びかける。最後には「急遽、明日のオールエンディングで歌うことになった。凝ったことではないが、楽しみにしてくれ」と観客の期待をあまり、会場を後にした。